

Bluetooth について

■ 使用周波数帯

本機では、Bluetooth 接続中に、2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

- 1 本機のBluetooth 機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。(※265ページ)
- 3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。(※265ページ)

■ 機器設定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方 (製品銘板に記載)

変調方式が FH-SS 方式



2.402 GHz ~ 2.480 GHz の全域帯を使用

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 他のBluetooth 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべてのBluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機でBluetooth 対応機器の音楽を聞いたりハンズフリー通話をするには、携帯電話が下記のBluetooth バージョンに対応していることが必要です。
 - ・ Bluetooth 標準規格 Ver.1.2
- 本機でBluetooth 対応機器の音楽を聞くには、Bluetooth 対応機器が下記のBluetooth プロファイルに対応していることが必要です。
 - ・ Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - ・ Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機で携帯電話の通話をするには、携帯電話が Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) に対応していることが必要です。
- 携帯電話の電話帳を本機に転送するには、携帯電話が Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) に対応していることが必要です。
- 本機で携帯電話を経由してデータ通信を利用するには、携帯電話が Dial Up Network Profile (ダイヤルアップネットワークプロファイル) に対応していることが必要です。
- Bluetooth 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 本機とBluetooth 対応機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

■ 本機から出力される音声について

本機とFOMA P906iをワイヤレス通信状態にしているときに、本機から出力される音声は、以下のとおりです。

	接続しているサービス*1	
	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	×
音声電話・テレビ電話着信音	○*2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	×
ワンセグの音声	×	○
iモーション再生音	×	○*3
ビデオ再生音	×	○
PC動画再生音	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	○
Music&Videoチャンネル再生音	×	○
アラーム 通知優先	○*4	○*6
通知音 操作優先	×	×
メール 通知優先	×	○*6
着信音 操作優先	×	×
プッシュトーク着信音	×	○*6

○：本機から出力されます。

×：本機からは出力されず、携帯電話から出力されます。

※1 HFP：ハンズフリーサービス (Hands-Free Profile)

A2DP：オーディオサービス (Advanced Audio Distribution Profile)

※2 「着信音送付設定」を「送らない」に設定している場合、携帯電話から着信音が鳴ります。

※3 サイトから取得中に再生しているiモーションの場合は鳴りません。

※4 通話中のみ本機から鳴ります。本機から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピッ」という通知音が鳴ります。

※5 待受画面以外を表示中はアラーム通知音/メール着信音は鳴りません。

※6 ミュージック再生中の場合のみ鳴動します。

iPod について

接続可能なiPod、ソフトのバージョンは以下のとおりです。(2008年6月現在動作確認済み)

- iPod (第5世代) / ver. 1.2.0以降
- iPod classic 1.0.0以降
- iPod nano (第1世代) / ver. 1.2.0以降
- iPod nano (第2世代) / ver. 1.1.2以降
- iPod nano (第3世代) / ver. 1.0.0以降
- iPod touch / ver. 1.1以降

お知らせ

- iPodは、音声データのみ再生可能です。画像・映像の表示はできません。
- iPod shuffle、iPod photo、iPod miniには対応していません。
- iPodの動作、および将来バージョンアップするiPodやソフトの対応については、補償いたしかねますので、ご了承ください。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

デジタル放送の対応について

地上アナログテレビ放送から地上デジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。